



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社C&Gシステムズ 上場取引所 東
 コード番号 6633 URL http://www.cgsys.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 聖一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部部长 (氏名) 大野 聡太郎 (TEL) 03(6864)0777
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	3,231	△1.8	334	△16.9	357	△17.1	190	△29.3
27年12月期第3四半期	3,290	13.3	402	72.3	431	73.3	270	30.0

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 174百万円(△39.1%) 27年12月期第3四半期 286百万円(35.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	19.49	—
27年12月期第3四半期	26.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	4,370	2,222	49.9
27年12月期	4,141	2,170	51.3

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 2,180百万円 27年12月期 2,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年12月期	—	0.00	—		
28年12月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	2.0	460	0.8	500	2.1	320	3.0	32.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 ー 社(社名) ー、除外 ー 社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期3Q	9,801,549株	27年12月期	9,801,549株
28年12月期3Q	84株	27年12月期	84株
28年12月期3Q	9,801,465株	27年12月期3Q	10,364,700株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

(当第3四半期連結累計期間の経営成績)

当社グループは当第3四半期連結累計期間において、CAD/CAMシステム等事業では、当社主催のプライベートショーおよび販売代理店、生産財メーカーとの共催セミナーを含めた各種イベントを積極的に開催し、新規開拓を進めるとともに他社製品からの置き換えを狙った営業展開を進めてきました。既存顧客に対しては旧システムから最新システムへの移行提案および技術サポートの提供等による顧客満足度の向上に努め、保守更新率の維持向上につなげてきました。また研究開発においては、既存CAD/CAMシステムの定期的なバージョンアップ開発のほか、経済産業省のサポートインダストリー事業の採択後も継続して取り組んでいる当社の持つ切削加工技術と3Dプリンタに代表される積層加工技術とを組み合わせた「AM-CAM (Additive Manufacturing CAM: 加法的製造向けCAM)」の研究開発にも注力しました。金型製造事業では、前年度から活況を呈していた北米の自動車産業に一服感が見られるものの、当社の金型製造子会社は来年以降の売上確保に向けて積極的な受注活動を行ってきました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は売上高32億31百万円(前年同四半期比1.8%減)となりました。利益面につきましては、売上高の減少に伴い営業利益3億34百万円(前年同四半期比16.9%減)、経常利益3億57百万円(前年同四半期比17.1%減)となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期と比較して法人税等が増加したことに伴い1億90百万円(前年同四半期比29.3%減)となりました。

(事業セグメント別の概況)

事業セグメント別では、CAD/CAMシステム等事業の売上高は26億53百万円(前年同四半期比3.0%減)、セグメント利益は2億66百万円(前年同四半期比24.2%減)となりました。国内では金型用3次元CAMシステムの販売を中心に売上が堅調に推移、保守売上では保守更新率90%以上を維持し、着実に収益につなげてきました。また製造業向け政府補助金関連の販売も当第3四半期連結累計期間より売上に貢献し始めています。ただし、第1四半期を中心に好調に推移した前年同四半期との比較では減収となり、加えて人員増等により販管費が増加したことなどから減益となりました。海外では現地技術員によるサポート体制の強化によりタイ・インドネシア等で保守売上が伸長したものの、韓国の市況悪化およびタイの政情不安等、海外でのCAD/CAMシステム販売は厳しい状況が続き、売上、利益ともに低調に推移しました。加えて現地通貨ベースから円換算の際に円高の影響を受けたことが、さらに収益を押し下げる要因となりました。

金型製造事業の売上高は5億78百万円(前年同四半期比4.0%増)、セグメント利益は67百万円(前年同四半期比33.8%増)となりました。円高の影響により円換算時に収益にマイナスの影響を受けているものの、第2四半期までの北米自動車産業向け受注が好調に推移し、第3四半期の収益に貢献しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して2億29百万円増加し、43億70百万円となりました。主な増加要因は現金及び預金1億94百万円および受取手形及び売掛金54百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して1億77百万円増加し、21億48百万円となりました。主な増加要因は前受金69百万円、未払法人税等82百万円および退職給付に係る負債60百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して51百万円増加し、22億22百万円となりました。主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1億90百万円、主な減少要因は為替換算調整勘定42百万円および配当による利益剰余金の減少98百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期の連結業績予想につきましては、平成28年2月12日付「平成27年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,617,385	1,812,145
受取手形及び売掛金	760,250	814,603
たな卸資産	146,531	145,677
その他	170,650	177,715
貸倒引当金	△2,563	△1,643
流動資産合計	2,692,253	2,948,499
固定資産		
有形固定資産	247,818	230,952
無形固定資産	105,054	80,922
投資その他の資産		
投資有価証券	123,164	132,396
投資不動産(純額)	421,683	414,329
保険積立金	413,472	427,488
その他	160,628	153,593
貸倒引当金	△22,778	△17,393
投資その他の資産合計	1,096,170	1,110,414
固定資産合計	1,449,043	1,422,289
資産合計	4,141,297	4,370,788
負債の部		
流動負債		
買掛金	83,725	91,224
未払法人税等	59,647	142,078
賞与引当金	-	45,012
前受金	714,316	783,740
その他	226,345	123,327
流動負債合計	1,084,035	1,185,383
固定負債		
役員退職慰労引当金	123,751	132,020
退職給付に係る負債	651,289	711,384
その他	111,285	119,350
固定負債合計	886,326	962,755
負債合計	1,970,362	2,148,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	125,000	125,000
利益剰余金	1,472,260	1,565,229
自己株式	△43	△43
株主資本合計	2,097,217	2,190,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	843	5,787
為替換算調整勘定	26,610	△15,468
その他の包括利益累計額合計	27,453	△9,680
非支配株主持分	46,263	42,144
純資産合計	2,170,934	2,222,649
負債純資産合計	4,141,297	4,370,788

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,290,365	3,231,309
売上原価	1,243,227	1,263,716
売上総利益	2,047,137	1,967,592
販売費及び一般管理費	1,644,901	1,633,441
営業利益	402,236	334,151
営業外収益		
受取利息	1,052	798
受取配当金	2,030	2,017
不動産賃貸料	61,784	65,801
貸倒引当金戻入額	1,131	6,305
その他	21,846	2,383
営業外収益合計	87,845	77,307
営業外費用		
支払利息	375	331
不動産賃貸費用	54,827	50,344
その他	3,709	3,136
営業外費用合計	58,911	53,812
経常利益	431,170	357,645
税金等調整前四半期純利益	431,170	357,645
法人税、住民税及び事業税	77,122	151,802
法人税等調整額	60,748	△13,210
法人税等合計	137,871	138,592
四半期純利益	293,299	219,053
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,147	28,069
親会社株主に帰属する四半期純利益	270,151	190,983

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	293,299	219,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,616	4,943
為替換算調整勘定	△10,904	△49,881
その他の包括利益合計	△7,287	△44,937
四半期包括利益	286,011	174,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	263,750	153,849
非支配株主に係る四半期包括利益	22,260	20,266

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,734,338	556,026	3,290,365	—	3,290,365
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,734,338	556,026	3,290,365	—	3,290,365
セグメント利益	351,836	50,399	402,236	—	402,236

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,653,222	578,086	3,231,309	—	3,231,309
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,653,222	578,086	3,231,309	—	3,231,309
セグメント利益	266,727	67,424	334,151	—	334,151